

平成28年度酒田市公益活動支援補助金交付事業

No.	団体名	事業名	事業概要	事業実施内容
1	絆盆栽を愛する会	可愛いミニ絆盆栽作り	地元で一人暮らしをしている高齢者の皆様、東日本大震災の被災地で一人暮らしをしている高齢者の皆様に盆栽を提供し、心穏やかに楽しむことができ、ひきこもり・孤独死をなくすることにつなげていく。	5月から10月までで計4回の盆栽作りを会員や一般市民の方々と行い、寄贈する100個の盆栽を作った。 高齢者・被災者同士の交流を促し「孤独死」防止につなげるため、富士見学区コミュニティ防災センターの地域内の一人暮らしの高齢者と石巻市の仮設住宅に住む一人暮らしの高齢者に各50個ずつ提供し、コミセン、自治会、高齢者等との交流を図った。
2	宮海地域おこし企画提案活動組織	みやうみ海岸海まつり	宮海ビーチ音楽フェスティバル(旧森の山夏祭り)を開催し音楽を通じた地域の内外の人たちとの交流を深め、更に風車塔のライトアップで海岸に色とりを添え地域の新たな魅力を発信し、酒田市の観光発展に寄与する。	フェスティバルは、7月30日入場者約100名(酒田市内外から30名)が和太鼓演奏や、アニソンDJ、ハワイアンダンス、サクセス、ギターとドラム、バンド演奏等楽しみ、風車等のライトアップは期間延長して9日間(9時間)実施して子連れ夫婦やカプセルなど観覧者約100名が景観を楽しむことができ、酒田の夏の観光につなげることができた。
3	NPO法人 みなと研究会	カキ殻のリサイクルで酒田市のゴミを減量化	市内各コミセンや海鮮市場などでかき等の殻を回収し、それを資源として土壌改良材として活用し、ゴミ削減に寄与する。また実際にかき殻砕体験学習会(親子対象)を開催し、循環型の自然環境づくりについて学ぶ機会を提供する。	5月事業説明会開催(20名)を行い、かき殻回収への理解を深めた。また6月～8月にかけてかき殻の回収作業を計25回実施。8月にはかき殻砕体験学習会を実施し、親子20組ほど参加し、かき殻が土壌改良剤となる循環型の自然環境作りを楽しむことができた。
4	NPO法人 アイル酒田	人とまちの元気をはぐくむ「スポーツシティ酒田」	「スポーツイベントの誘致等による交流人口の拡大や地域の活性化を目指す」と題した講演会を行いスポーツイベント誘致へ機運醸成につなげていく。	8月20日公益研修センターにて「スポーツを地域資源とした地方創生」と題し、武田均氏(公益財団法人仙台スポーツ振興事業団常務理事兼事務局長)より講演していただき、スポーツイベント誘致による地域経済への波及効果や、子供たちにも良い影響があることなど再認識するきっかけづくりとなった。(参加者70名)
5	酒田港イベント実行委員会	酒田まつり前夜祭を市民と共に盛り上げる～酒田限定レスラー獅子王プロレス大会～	「酒田限定レスラー獅子王プロレス大会」を酒田まつり前夜祭に開催し、酒田まつりを市民と共に盛り上げていく。更に大会チャリティオークションを行い収益金は社会福祉協議会へ寄付する予定。	5月19日実施。市民及び関東、東北一円からの観光客等集客約750人が大会を楽しみ、酒田祭りの前夜祭を盛り上げることができた。さらに酒田の観光客の集客につながり、商店街の振興にも寄与することができた。(内容:プロレスラーに学ぶ体力づくり教室、試合、チャリティ募金(大分・熊本県への寄付金134,000円)など)
6	S.A.T(Sea.Active.Try)	初めての海釣り体験(仮)	親子で「釣り体験」(魚のさばき方も含む)を行うことで、自然との触れ合い、命の大切さ、自然・資源の保全、マナーと安全等学び生きる力を身につけさせる。	7月3日雨天のため室内(西荒瀬コミュニティセンター)のみで実施。親子13組33名の参加で、お魚推理クイズ、さおの扱い方、糸の通し方、仕掛けの結び方、キャストの仕方、実際に海に出た際のマナーや注意事項等を学んだ。さらに様々な魚を実際にさばいて調理する体験をしてみんなで食べることで、「命の大切さや」など親子で学び感じてもらうきっかけとなった。
7	SAKATA SB	スケートボード普及活動と地域活性化事業	スケートボードスクールの開講、スケートボード大会の開催(10月中旬)を通して、スケートボード(スポーツ)振興と青少年の健全育成を図る。	スケートボードスクールは7回を実施、うち1回はえみし祭り(Organize Back Country 主催)の会場で開催した。参加者は3歳から12歳までの子供で計83人(約11人/1回あたり平均)が参加し、スケートボードの基礎を学ぶと共に子供同士や保護者の交流も図った。 また、スケートボード大会については、酒田港パークにてトッププロを招いて実施した。参加者は初心者クラスが7歳から17歳までの5人、一般参加者は14歳から39歳までで10人の参加があった。開催によって、酒田市への集客、SNS等での宣伝による酒田市の知名度の向上に結びついた。
8	にしあらせロコモ教室	にしあらせロコモ健康講座	ロコモ予防運動の実施(コミセンでの教室活動、出前教室)により、参加者の運動機能の維持向上、集いの場の創出を行い、地域の中で元気で安心して暮らすことができる環境を作る	西荒瀬コミュニティセンターにて44回開催(延べ1,080人:平均約24名/1回が参加)、出前講座は自治会等で6回開催(延べ45人:平均約7名/1回が参加)。参加者の実施運動機能の維持向上、健康に対する意識の向上が図られた。また地域のつどいの場の創出にもつながり参加者同士のコミュニケーションも図られた。
9	八幡活性化グループ(YKG)	イス1-GP北庄内大会2016	商店街活性化を図るため始まり、全国で注目されている「イス-1グランプリ」を旧八幡地区で開催し、地域全体の活性化や商店街の経済効果を向上させる。	9月18日観音寺特設コースにおいて「イス-1GP 北庄内大会」を実施。県内より18チーム、県外より2チーム計20チーム参加して大いに盛り上がった。また、小さい子供から年配の方まで幅広い年代の方々が沿道がにぎわい、地域活性化にもつながった。(飲食ブース5店舗、クラフトブース2店舗)
10	NPO法人 酒田みなとまちづくり市民会議	【もしえのんあののん音頭】による地域の輪づくり事業	老若男女だれもが踊れる「もしえのんあののん音頭」を作成し、地域イベントを盛り上げ地域の活性化と観光客へのおもてなしを構築する。	もしえのんあののん音頭歌詞ワード募集40件の応募があり作詞作曲完成。7月の酒田みなとオアシスマつりでは若草幼稚園児の皆さんから自由に踊ってもらった。また8月の花火ショー、9月の大浜ピックビーチフェスタではBGMとして活用するなど、各種イベントに活用し地域の活性化や観光推進に役立てると共に、必要に応じてCD化し各団体等に配布することで地域世代間の交流・健康増進にもつなげていくなどの活用を図っていく。
11	夢ものづくり研究会	「酒田産業フェア」会場内での子供物づくり教室、商品展示	「酒田産業フェア」で子どもたちにも作りの楽しさ、完成する充実感の味わいを体験してもらい、ものづくりに対する発想を高めてもらう。	発泡スチロールの飛行機作りなど材料(130個)がなくなるほど盛況であり、ものづくりの楽しさを体感させることができた。 開発を誤解していた考え方が多かったようだが、商品の出展や出展企業を回って説明したことで関心が高まり知財の必要性を認識されはじめ小規模事業所の活性化につながった。
12	歌声ランドさかた	高齢者施設への出前演奏	高齢者施設等に出向き、民謡等を楽器で演奏し、参加者と一緒に歌うことで、心身の健康維持向上に寄与する。	街かどコンサート(2回)や高齢者施設や病院等での出前サロンを実施し、参加者からは大変喜んでほしい、心身の健康維持につなげることができた。
13	Organize Back Country	えみし祭り	旧八幡地域の玉簾の滝で「えみし祭り」を開催する。音楽演奏、鳥海山のガイド映像、飲食店出店等地元の自然の素晴らしさや楽しさを発見するきっかけを作り、地域の活性化を図る。	9月17日実施し、日中(12時から17時)のみの参加者が14名、日中から夜間(17時から24時)にかけての参加者は85名になった。酒田の観光資源である玉簾の滝のPRや、自然の中で遊ぶことを、県内外の方や子供たちに伝えることができた。(内容:スラックライン、ツリークライミング、スケボー教室、風の会演奏、DJ演奏)